

◆基本目標に係る評価概要

基本目標 1	子どもを生き育てやすいまちへ
<p>「子ども支援拠点数」については、目標値を達成しておりますが、「子ども支援拠点数等の利用者数（延べ）」は基準値を下回りました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一時的な一般開放の中止や子育て講座の中止、利用時間を区切った利用人数の制限を設けたことなどが要因と考えておりますが、室内での様々な子どもとの遊び方を紹介した動画を配信するなど、コロナ禍においても可能な取組を実施しました。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しながら、安全安心な支援センターを維持するとともに、育児相談や子育て情報誌の発行などを実施し、子育て環境の充実に取り組んでまいります。</p> <p>「一斉学校公開日の来校者に占める地域住民の割合」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施を中止としたため実績値は「－」としています。</p> <p>「全国体力運動能力調査（小学生）20mシャトルランのT得点の全国平均を上回る」については、体育授業にスポーツ指導員を派遣し、指導体制の充実を図っている効果もあり、目標値を上回り達成しました。</p> <p>「都市公園の遊具健全度」については、登別市公園施設長寿命化計画に基づき年次的な整備を図ることにより、基準値から目標値に近づいたため、進展しました。</p>	
基本目標 2	安心して老いを迎えることができるまちへ
<p>「生活困窮者自立支援法に基づく相談件数」については、目標値を上回り達成しました。今後においても、生活に困窮する方の個々の課題を見極め、適切な支援につなげてまいります。</p> <p>「特定健康診査の受診率」については、基準値から目標値に近づいたため、進展しました。新型コロナウイルス感染症の影響等もあり令和2年度に比べて実績値が減少する結果となりましたが、電話による受診勧奨のほか、特定健診受診状況や問診結果からそれぞれの健康意識に合わせたメッセージのハガキを送付するなどの手法により受診率の向上に努めました。</p> <p>「図書館を利用した市民の割合」については、令和2年度に比べて利用割合は増加しているものの基準値を下回りました。今後は図書館の利用に繋がる「空間の質」の向上を図るため、読書スペースや蔵書配置などの館内レイアウトの変更を実施するとともに魅力的な蔵書構成となるよう、電子書籍の蔵書の充実を図り、利用者を増やす取組を実施してまいります。</p>	

基本目標 3	各産業が元気に展開されるまちへ
<p>「有効求人倍率」については、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中でも、市内の経済活動が再開し始め、宿泊業や製造業を中心に求人情報が増えてきたため、令和2年度実績から進展し、目標値を上回り達成しました。</p> <p>「観光入込客数」については、クーポン発行事業などの実施により、日本人を中心とした国内の観光客の増加に繋がりましたが、入国制限が続いていたことなどから、外国人観光客は大幅に減少し、結果として基準値を下回りました。今後、減少した観光客の回復に向けて、魅力ある観光地づくりを推進し、将来的な誘客促進へ繋げてまいります。</p> <p>「乳牛1頭当たりの生産乳量」については、基準値を下回りました。引き続き、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図ってまいります。</p>	
基本目標 4	観光地としての魅力を高め選択されるまちへ
<p>「観光入込客数」については、クーポン発行事業などの実施により、日本人を中心とした国内の観光客の増加に繋がりましたが、入国制限が続いていたことなどから、外国人観光客は大幅に減少し、結果として基準値を下回りました。今後、減少した観光客の回復に向けて、魅力ある観光地づくりを推進し、将来的な誘客促進へ繋げてまいります。</p> <p>「歴史文化施設入館者数」については、令和2年度に比べ増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設において2ヶ月程度の臨時休館やイベント等の中止もあり、大幅に減少し、基準値を下回りました。引き続き、郷土に対する理解を深めるとともにイベント等の実施や常設展示の更新を行い、市民の文化活動の推進を図ってまいります。</p>	
基本目標 5	移住・定住・応援したいまちへ
<p>「ちょっと暮らし（体験移住者）」及び「移住ワンストップ窓口への相談者数」については、令和3年10月より移住体験の受入を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、基準値を下回りました。移住体験者の新規獲得や本市への定住につながるよう、引き続き、都市圏での移住相談会やオンライン移住相談会などへの参加や、移住ポータルサイト「のぼりべつで楽住」を活用した移住の魅力発信を行ってまいります。</p> <p>「姉妹都市（四五都市を含む）都市間交流人数」については、一部交流事業を実施することはできたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、予定していた事業の多くが中止となり、基準値を下回りました。</p> <p>「国際理解講座への参加者数」については、令和2年度に比べ国際理解講座を多く開催することができたこともあり、目標値を大きく上回りました。引き続き、国際理解を深めるための充実した講座を実施してまいります。</p>	